



市民の健康づくりを運動で支援

野村不動産ライフ&スポーツ(株)と協定締結

市は1月16日、野村不動産ライフ&スポーツ株式会社と「健康増進計画等の推進に関する連携協定」を締結しました。スポーツクラブや放課後支援事業を展開する同社のノウハウを生かし、イベントや市内企業、保育所(園)・幼稚園などでの運動・健康教室や体力測定会の開催などで協力。健康づくりへの課題が特に多い20代〜40代の働く世代を中心



に、生涯を通じた健康づくりを支援します。同社代表取締役社長の小林利彦さん(上写真右)は「不動産業も扱っている強みを生かし、地域をよく知る健康インフラになりたい」と話しました。



▲健康増進計画に基づき子どもたちの平均運動時間の増加に向けた楠葉野保育所での取り組み

問 健康づくり課 ☎ 841・1458、☎ 841・3039

3月23日(日)から 市駅高架下の交通運用を変更

公共交通機関を優先



3月23日(日)早朝から市駅高架下は公共交通の利便性を向上させ安全・安心な駅前広場とするため、公共交通機関(路線バ

ス・タクシー)を優先した交通運用に変更します。一般車両の高架下通行はご遠慮ください。詳細は市ホームページ(右記コード)参照。

問 市駅周辺まち活性化部 ☎ 841・1364、☎ 841・3039



令和6年度包括外部監査

財務に関する事務の執行などをチェック

市は財務に関する事務の執行などのチェックの一環として包括外部監査人による包括外部監査を受けています。今年度のテーマは「上下水道事業に係る財務事務の執行について」で、合規性や経済性などの観点から指摘や意見を受けました。今後、これらの指摘や

意見を踏まえ、市として必要な対応を行います。詳細は市ホームページ参照。

問 コンプライアンス推進課 ☎ 841・1294、☎ 841・3039

伏見市長の情熱日記

災害が起きる前にできること



阪神淡路大震災から30年。この間、様々な災害の経験を積み重ね、行政の防災への取り組みは進歩しています。

本市では、阪神淡路大震災を契機として1月中旬に、関係機関と連携した災害対策訓練を行っています。また、大阪北部地震で浮き彫りとなった各部署の具体的な役割や市民への分かりやすい情報発信などの課題に対応するため、市民参加型の総合防災訓練を実施しています。

そして今年は新たに、災害時の被害状況を速やかに把握するためのドローンを用いた実証実験や、地域防災の中核を担う消防団員の増加を図る

ための大学生向け消防団体体験会を実施しました。このように様々な取り組みを進め、迅速で的確な災害対応ができる体制確保に努めています。

しかし、地震をはじめとする災害時には、一人一人による自助と互いに助け合う共助があってこそ被害を最小限にすることができます。市民の皆さんには、今月の特集(8・9ページ参照)を参考に備蓄品の準備をお願いします。また、地域や市が行う訓練にご参加いただき、継続的に防災意識を高めていただくほか、可能な範囲で自宅の耐震補強を行うなど、いざという時の備えをお願いします。